

平成30年度末における「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画」の推進状況に関する調査結果

第3章 食育・健康づくりにおける具体的施策

第3節 健康を支える環境の整備

(1) こころの健康 **施策の方向性：「ストレスと上手に付き合う方法を身に付け、地域・職場・学校ではこころの不調を早期に見見できる体制を整備する。」**

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
広報紙、ホームページ等による普及・啓発	こころの健康や悩みを相談できる窓口の周知を図るとともに、福祉まつり等においてパネル展示等を行い、知識の普及・啓発に努めます。	市報、市ホームページ等で相談窓口について周知するとともに、市民向けに自殺の現状とその対策の重要性についての講演会を実施し、知識の普及・啓発活動を行った。また、福祉まつりにおいて、パネル展を実施した。 講演会 1回実施 参加者数 32人	B	引き続き、市報、市ホームページ等で相談窓口について周知するとともに、市内の各種イベントにおいて知識の普及・啓発活動を行う。	市報、市ホームページ等で相談窓口について周知するとともに、市民向けに自殺の現状とその対策の重要性についての講演会等を実施し、知識の普及・啓発活動を行った。また、福祉まつりにおいて、パネル展を実施した。 講演会 1回実施 参加者数 34人	B	引き続き、市報、市ホームページ等で相談窓口について周知するとともに、市内の各種イベントにおいて知識の普及・啓発活動を行う。		健康推進課
		民生委員・児童委員協議会において施策の説明等を行い、両委員から地域へと知識が普及されるよう努めた。	B	必要に応じて民生委員等から、地域のなやみごと相談として健康等に関する相談情報の提供を受け、専門機関に繋ぐ等によって問題の早期解決を図る。	必要に応じて民生委員等から、地域のなやみごと相談として健康等に関する相談情報の提供を受け、専門機関に繋ぐ等によって問題の早期解決を図った。	B	引き続き必要に応じて民生委員等から地域のなやみごと相談として健康等に関する相談情報の提供を受け、専門機関に繋ぐ等によって問題の早期解決を図る。		地域福祉課
ゲートキーパーの養成	相手のこころの不調のサインに気付き、その人の話を聞き、受け止め、専門機関等による相談等につなぐ役割を担うゲートキーパーを養成します。	ゲートキーパーの育成と充実を図るため、市職員等を対象とした講演会を実施した。 講演会 1回実施 参加者数 34人	B	ゲートキーパーの育成と一層の充実を図るため、市職員のみならず市民等を対象とした講演会を実施する。	ゲートキーパーの育成と充実を図るため、民生・児童委員、一般市民等を対象とした研修会を実施した。 ゲートキーパー研修 1回実施 参加者数 39人	B	引き続き、ゲートキーパーの育成と一層の充実を図るため、市民等を対象とした講演会を実施する。		健康推進課
ハグはぐ・むらやまの運営	妊娠期から専門職が関わり、出産・子育てに関する悩みや不安を軽減するとともに、支援を切れ目なく行うことにより、妊婦・乳幼児・保護者の心身の健康の保持・増進を図ります。	保健師による相談体制を充実させ、ハグはぐ・むらやまの周知に努めた。 利用者数 1,152人 面接者数 559人 要支援者数 71人	A	利用者数の増加を目指し、ハグはぐ・むらやまの周知に努める。	保健師による相談体制を充実させ、ハグはぐ・むらやまの周知に努めた。 利用者数 1,218人 面接者数 521人 要支援者数 39人	A	利用者数の増加を目指し、ハグはぐ・むらやまの周知に努める。		健康推進課
母子及び父子相談、女性相談の実施	ひとり親家庭の生活の安定や子どもの健全育成のため、母子・父子自立支援員及び女性相談員により、生活全般についての相談に対応します。	ひとり親家庭及び女性からの相談に対応した。 延べ相談件数 1,712件 新規相談件数 1,003件	B	引き続き、ひとり親家庭及び女性の持つ相談に応じ、相談者の様々な問題に沿った支援及び指導を行う。	ひとり親家庭及び女性からの相談に対応した。 延べ相談件数：1,310件 新規相談件数：1,050件	B	引き続き、ひとり親家庭及び女性の持つ相談に応じ、相談者の様々な問題に沿った支援及び指導を行う。		子育て支援課
(仮称)自殺対策計画の策定	自殺対策を総合的かつ効果的に推進するため、「(仮称)自殺対策計画」を策定します。	計画の策定に向け、東京都及び近隣市からの情報収集等を行った。	C	平成32年度の策定に向け、情報収集や計画内容の検討を行う。	地域福祉計画に含めて作成予定。作成に向けて、担当者連絡会等で情報収集を行った。	C	市民意識調査を実施する。		健康推進課

評価基準	○ 29年度より成果が得られた。 ▽ 29年度より成果が得られなかった。
A 事業を実施し、施策の方向性の成果が十分得られた。	
B 事業を実施し、施策の方向性の成果が概ね得られた。	
C 事業を実施したが、施策の方向性の成果までは得られなかった。	
D 事業を実施したが、施策の方向性の成果が得られず課題が多い。	
E 事業を実施していない。	

(2) 健康支援環境 **施策の方向性：「市、医療機関、学校、職場、市民団体が連携し、地域ぐるみで健康づくりを進める。」**

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
ヘルシーSlim教室・骨粗しょう症予防教室【再掲】	ヘルシーSlim教室、骨粗しょう症予防教室における医師の講話、保健師からの指導・助言、試食を含めた栄養士による栄養指導、歯科衛生士からの歯みがき等の実習を取り入れた歯科指導を通して、生活習慣の改善へとつなげます。	各種健康教室にて、医師・保健師・栄養士・歯科衛生士からの講話・指導・助言等を行い、生活習慣の改善につなげる教室を開催。(平成29年度より「ヘルシーSlim教室」は「健康寿命を延ばそう教室」に変更。) 【健康寿命を延ばそう教室】2回実施 延べ26人 【骨粗しょう症予防教室】1回実施 28人	B	引き続き、各種健康教室を実施し、内容の充実にも努める。 【健康寿命を延ばそう教室】2回 【骨粗しょう症予防教室】2回	各種健康教室や出前講座を通して健康について伝えた。 【健康寿命を延ばそう教室】2回実施 延べ21人 【骨粗しょう症予防教室】2回実施 延べ54人 【出前講座】	B	引き続き、各種健康教室や出前講座を通して歯と口の健康について伝えていく。 【健康寿命を延ばそう教室】2回 【骨粗しょう症予防教室】2回		健康推進課
ヨガ体操教室・ピラティス教室【再掲】	適度な運動やストレッチで体をほぐすなど、柔軟性や筋持久力を向上させます。	成人の方を対象に、健康教室(ヨガ体操教室、ピラティス教室)を実施。 6回実施 延べ101人参加	B	引き続き、健康教室(ヨガ体操教室、ピラティス教室)を実施し、内容の充実にも努める。 6回実施	成人を対象とした健康教室(ヨガ体操教室、ピラティス教室)を実施。 6回実施 延べ68人参加	B	引き続き、健康教室(ヨガ体操教室、ピラティス教室)を実施し、内容の充実にも努める。 6回実施		健康推進課
フットケア教室【再掲】	足爪の手入れ方法や足いきいき体操を学び、健康を足元から支える技術を習得します。	成人の方を対象に、フットケア専門家による健康教室(フットケア教室)を実施。 4回実施 延べ24人参加	B	引き続き、健康教室(フットケア教室)を実施し、内容の充実にも努める。 2回実施	成人を対象とした健康教室(フットケア教室)を実施。 2回実施 延べ16人参加	B	引き続き、健康教室(フットケア教室)を実施し、内容の充実にも努める。 2回実施		健康推進課
健康運動教室【再掲】	運動習慣のきっかけづくりとして、日常生活で取り入れられるエクササイズを実施します。	成人の方を対象に、運動指導員による健康教室(健康づくり生き生き運動塾(旧・健康運動教室))を実施。 4回実施 延べ23人参加	B	引き続き、健康教室(健康づくり生き生き運動塾)を実施し、内容の充実にも努める。 2回実施	成人を対象とした健康教室(健康づくり生き生き運動塾)を実施。 2回実施 延べ9人参加	B	引き続き、健康教室(健康づくり生き生き運動塾)を実施し、内容の充実にも努める。 2回実施		健康推進課
かたくりの湯のプールを活用した教室【再掲】	水中ウォーキングやスイムレッスン等、市民の健康増進につながる教室等を実施します。	平成29年4月から約1年間、温泉施設の大規模改修工事により休館したため未実施。	E	指定管理者制度による民間活力を活用し、市民の健康増進と福利厚生を図るイベントを開催する。	【多目的ルームプログラム】 教室数：延べ97教室 参加人数：延べ1,276人 【プールプログラム】 教室数：延べ73教室 参加人数：延べ1,605人	B	【多目的ルームプログラム】 やさしいヨガ教室ほか8教室 【プールプログラム】 アクアピクス教室ほか6教室		観光課
健康相談・栄養相談【再掲】	適切な健康づくりができるよう、個別の相談に応じ、家庭における健康づくりの支援を図ります。	成人の方を対象に、健康や栄養に関することについて、医師・保健師・栄養士による個別相談を実施。 実施回数 4回 健康相談 17人 栄養相談 10人	C	引き続き、医師・保健師・栄養士による個別相談を実施。 実施回数 4回	成人を対象に個別相談を実施。 実施回数 4回 (健康相談 延べ10人) (栄養相談 延べ5人)	C	廃止。骨密度相談時や電話相談などで対応。		健康推進課
かかりつけ医等の促進	広報紙、ホームページのほか各種健(検)診において、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局をもち、自らの健康管理ができるように普及・啓発していきます。	乳幼児健診において、かかりつけ医のアンケートを実施。その他、各種相談の際にかかりつけ医等の促進に努めた。	C	引き続き各種健(検)診等において、かかりつけ医等の普及・啓発に努め、広報紙、ホームページ等にも掲載し、広く周知する。 また、かかりつけ薬局について掲載されているリーフレット(残薬調整希望カード)の設置を市内薬局に保険年金課と共同で依頼する。	乳幼児健診において、かかりつけ医等のアンケートを実施。その他、各種相談の際にかかりつけ医等の促進に努めた。	B	引き続き各種健(検)診等において、かかりつけ医等の普及・啓発に努める。また、広報紙、ホームページ等に掲載し、広く周知・啓発する。		健康推進課
地域における交流の場・機会の確保	子どもから高齢者までが地域行事を通じて交流する等、誰もが参加できるような地域における福祉を中心とした様々な交流の場・機会の確保を図ります。	同じ悩みを抱える者が交流し、友達づくりの輪を広げる貴重な場として、「パパとママのためのマタニティークラス」や「離乳食教室」等の各種教室を実施。	B	引き続き各種教室を実施し、交流の場・機会の確保に努める。また、本年度はウォーキング教室を開催し、ウォーキングを通じての地域コミュニティの活性化に努める。	各種教室を実施して、交流の場・機会の確保に努めた。	B	引き続き各種教室を実施して、交流の場・機会の確保に努める。		健康福祉部全課(健康推進課)
		民生委員の主任児童委員が主催する地区連絡協議会を9月に開催した。この会議は、民生・児童委員、市内の全小中学校、児童相談所、子ども家庭支援センター等の関係者が一同に集まり、子ども達が抱える様々な悩み事(虐待や子どもの安全・健康の確保等含む)などについて、意見交換する貴重な交流の場である。	B	今年度も引き続き、地区連絡協議会を9月に開催する予定である。 また、6月に東京都民生委員制度創設100周年記念講演会をさくらホールで開催した。来場者は約200名で、地域福祉を中心に行う民生委員活動を多くの関係者や市民にPRすることができた。	地区連絡協議会を9月に開催し、民生・児童委員、市内の全小中学校、児童相談所、子ども家庭支援センター等の関係者において意見交換を行った。 また、6月に東京都民生委員制度創設100周年記念講演会をさくらホールで開催し、地域福祉を中心に行う民生委員活動を多くの関係者や市民にPRした。	B	今年度も引き続き、地区連絡協議会を9月に開催する。		健康福祉部全課(地域福祉課)
		受給者の孤立化を防ぐため、世帯の状況に応じて地域行事や社会活動への参加を促した。	C	受給者の孤立化を防ぐため、地域行事や社会活動への参加を促進する。	受給者の孤立化を防ぐため、地域行事や社会活動への参加を促進する。	B	受給者の孤立化を防ぐため、地域行事や社会活動への参加を促進する。		健康福祉部全課(生活福祉課)
		子どもカフェ事業において、市内で取れた野菜を題材に乳幼児から高齢者まで参加できるイベントをおこなった。	B	引き続き、子どもカフェ事業等のひろば事業にて年齢にとらわれない事業を行う。	子どもカフェ事業で、市内で取れた食材を用いた料理教室を定期的に開催し、交流を図った。	B	引き続き、子どもカフェ事業等のひろば事業にて年齢にとらわれない事業を行う。		健康福祉部全課(子育て支援課)
		地域住民が運営する高齢者の通いの場である「お互いさまサロン」の設置を推進した。(平成29年度末：11か所)	A	引き続き、「お互いさまサロン」の増加、充実を図る。(目標：2025年度までに70か所)	地域住民が運営する高齢者の通いの場である「お互いさまサロン」の設置を推進した。(平成30年度末：38か所)	A	引き続き、「お互いさまサロン」の増加、充実を図る。(目標：2025年度までに70か所)		健康福祉部全課(高齢福祉課)

広報・啓発活動等の推進	健康に関する意識を一層高めるため、広報紙やホームページ、SNS等を活用した広報・啓発活動を推進します。	広報紙にて、歯科医師会・薬剤師会・栄養士連絡会の協力により、市民の健康や食育についてコラムを掲載。また、熱中症予防等の注意喚起を広報紙、ホームページに掲載。	C	引き続き、広報紙、ホームページやSNS等を活用し、広く啓発活動に努める。	広報紙にて、歯科医師会・薬剤師会・栄養士連絡会の協力により、市民の健康や食育についてコラムを掲載。また、熱中症予防等の注意喚起を広報紙、ホームページに掲載。	C	引き続き、広報紙、ホームページやSNS等を活用し、広く啓発活動に努める。		健康福祉部全課 (健康推進課)
		民生委員の定例会(毎月実施)では、健康推進課や関係先から健康に関する情報提供があるため、チラシ等の情報誌を民生委員に配布して、各地区での周知に努めている。	B	今年度も引き続き、民生委員の定例会で健康に関する情報提供に努めていく。	民生・児童委員の定例会で健康に関する情報提供に努めた。	B	今年度も引き続き、民生委員の定例会で健康に関する情報提供に努めていく。		健康福祉部全課 (地域福祉課)
		生活に困窮した人が市役所に相談できるよう、わかりやすいホームページの作成に努めた。	C	生活に困窮した方々に適切に情報が伝わるよう簡潔かつ正確な情報発信を行う。	生活に困窮した人が市役所に相談できるよう、わかりやすいホームページの作成に努めた。	B	生活に困窮した方々に適切に情報が伝わるよう簡潔かつ正確な情報発信を行う。		健康福祉部全課 (生活福祉課)
		子育て情報サイト及びアプリにて、子育てに関する流行感染症予防等の情報提供を行った。	B	引き続き、子育て情報サイト及びアプリにて、流行性の高い感染症予防等の情報提供を行う。	子育て情報サイト及びアプリにて、子育てに関する流行感染症予防等の情報提供を行った。	B	市民向け講演会等を通し、健康に関する情報を発信する。		健康福祉部全課 (子育て支援課)
		介護予防に関する意識の高揚のため、介護予防普及啓発事業の開催及び参加者募集について市報及びホームページで周知した。	A	引き続き、市報等を用いて介護予防に関する意識の高揚に努める。	介護予防に関する意識の高揚のため、介護予防普及啓発事業の開催及び参加者募集について市報及びホームページで周知した。また、本市が制作した「お互いさま体操」について、DVD及びパンフレットを作成し普及啓発を図った。	A	引き続き、市報等を用いて介護予防に関する意識の高揚に努める。		健康福祉部全課 (高齢福祉課)
		市民総合センター・機能回復訓練教室での障害のある人の健康増進事業を実施。また、障害者地域自立生活支援センターや精神障害者地域活動支援センターにおいて保険事業や医療機関等についての相談支援を実施。	B	市民総合センター・機能回復訓練教室での障害のある人の健康増進事業を、今後も継続します。また、家庭・地域などにおける心の健康づくりに関する相談を受けられる体制づくりを推進します。	市民総合センター・機能回復訓練教室での障害のある人の健康増進事業を実施。精神障害者の相談支援や訪問を実施。オープンスペースで障害者の地域交流を図った。なお、自立生活支援センターにおいても健康・医療に関する相談支援を実施した。	B	市民総合センター内身体障害者福祉センターで機能回復訓練教室を行い、障害のある人の健康増進事業を今後も継続します。また、精神障害者地域活動支援センターでは精神障害者の社会復帰、自立、社会参加等を促進するため、相談支援、レクリエーション行事等を引き続き実施します。なお、自立生活支援センターにおいても健康・医療についての相談支援を引き続き実施します。		健康福祉部全課 (障害福祉課)

(3) 感染症対策 **施策の方向性：「予防接種を受ける時期の周知や受けやすい環境を整える。」**

事業名	事業内容	29年度実施内容	29年度評価	30年度実施予定内容	30年度実施内容	30年度評価	令和元年度実施予定内容	備考	所管課
感染症についての啓発	広報紙、ホームページのほか「あんしん子育て予防接種ナビ」を活用し、感染症についての正しい知識の普及・啓発を図ります。	インフルエンザ等の感染症情報や予防方法等を広報誌、ホームページにて啓発。また、「あんしん子育て予防接種ナビ」にて感染症情報を発信。	B	引き続き広報誌、ホームページのほか「あんしん子育て予防接種ナビ」を活用し、広く啓発に努める。また、その内容について充実を図る。	インフルエンザ等の感染症情報や予防方法等を広報誌、ホームページにて啓発。また、「あんしん子育て予防接種ナビ」にて感染症情報を発信。	B	引き続き広報誌、ホームページのほか「あんしん子育て予防接種ナビ」を活用し、広く啓発に努める。また、その内容について充実を図る。		健康推進課
予防接種・結核検診の実施	予防接種法に基づく定期接種、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に基づく結核検診を実施し、感染症等の予防に努めます。	子どもと高齢者の定期予防接種を個別予防接種にて実施。また、65歳以上の高齢者を対象に、結核検診を実施。 【結核検診】5回実施 136人受診	C	引き続き個別予防接種にて定期予防接種を実施。結核検診については、実施時間及び時間帯を変更することで、受診しやすい環境を整備。 【結核検診】4回実施 各回40人予定	子どもと高齢者の定期予防接種を個別予防接種にて実施。65歳以上の高齢者を対象に、結核検診を実施。 結核検診 4回実施 112人受診	C	引き続き個別予防接種にて定期予防接種を実施。結核検診については、実施回数を減らし、実施時間及び時間帯を変更することで、受診しやすい環境を整備。 結核検診 4回実施		健康推進課
「あんしん子育て予防接種ナビ」の活用	「あんしん子育て予防接種ナビ」の利用を促進し、安全確実な接種に努めます。	初めての予防接種の御案内通知にチラシを同封。また、保健事業予定表にも掲載し、全戸配布。 29年度末登録件数 1,295件	B	引き続き利用促進に努め、内容の充実を図る。 新規登録予定件数 500件	初めての予防接種の御案内通知にチラシを同封。また、保健事業予定表にも掲載し、全戸配布。 30年度末登録件数 1,609件	B	引き続き利用促進に努め、内容の充実を図る。 新規登録予定件数 350件		健康推進課
定期予防接種の個別勧奨	各予防接種の対象時期の該当者に対し、個別通知を行い、接種率の向上を図ります。	定期予防接種対象者に対し、対象時期に個別通知を実施。併せてマイナポータルのお知らせ通知にて個別勧奨を実施。また、「あんしん子育て予防接種ナビ」の利用を促進し、接種率の向上を図った。	B	引き続き個別通知、マイナポータルのお知らせ通知にて個別勧奨を実施。	定期予防接種対象者に対し、対象時期に個別通知を実施。併せてマイナポータルのお知らせ通知にて個別勧奨を実施。また、「あんしん子育て予防接種ナビ」の利用を促進し、接種率の向上を図った。	B	引き続き個別通知、マイナポータルのお知らせ通知にて個別勧奨を実施。		健康推進課